

令和4年度第2回安城市自立支援協議会 次第

日時：令和4年10月27日（木）

午後2時40分から午後3時30分まで

場所：安城市役所本庁舎3階 大会議室

1 議 題

(1) 共生のまち部会等の活動報告について（報告）……………資料1（P1～P15）

2 その他

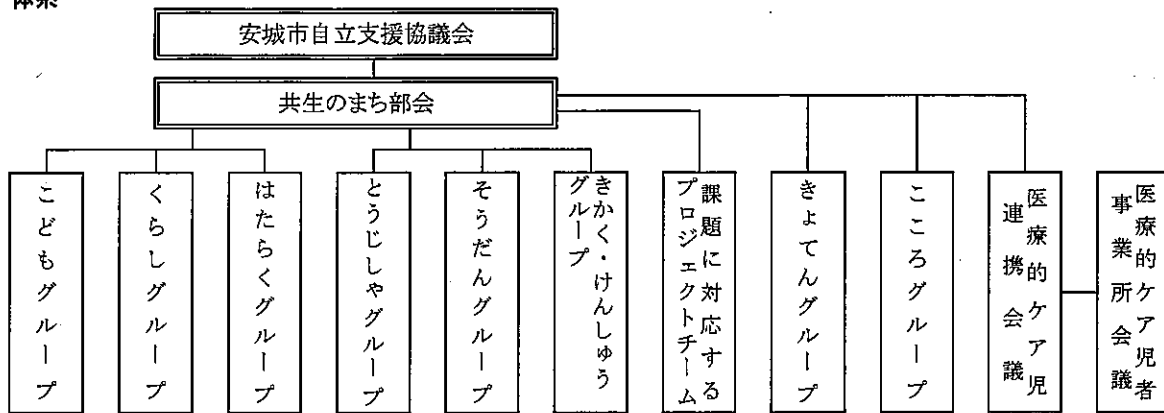
令和4年度の安城市自立支援協議会のスケジュールについて

第3回 令和5年3月23日（木）午後2時40分から午後3時30分まで

安城市役所 本庁舎3階 災害対策本部室

安城市自立支援協議会について

1 体系



2 構成員

	開催時期	構成事業所等	内容
共生のまち部会	毎月第4木曜日	共生のまち部会長・副会長 各グループリーダー・サブリーダー 各プロジェクトチームリーダー 医療的ケア児者事業所会議リーダー 基幹相談支援センター、障害福祉課	自立支援協議会内の各組織のリーダー、サブリーダーで構成し、地域の課題について検討を行う
こどもグループ	毎月	児童発達支援、放課後等デイサービス 児童相談所 療育センター、保健センター 保育園、学校(ケースの内容により出席を依頼)	障害児やその家族に対する支援について検討を行う
くらしグループ	偶数月	グループホーム 短期入所 入所施設 居宅介護(ホームヘルプサービス)	グループホーム並びに入所施設における支援等及び在宅及び外出におけるホームヘルプサービスについて検討を行う
はたらくグループ	偶数月	就労移行支援、就労継続支援 生活介護、日中一時支援 学校 ハローワーク	障害者の就労に関することや日中の居場所などについて検討を行う
とうじしゃグループ	毎月	障害当事者 共生のまち部会長・副会長 地域生活支援拠点等コーディネーター	障害者が当事者の視点から日常生活や障害者支援に関する内容について提案等を行う
そうだんグループ	毎月	指定特定相談支援、 指定一般相談支援 障害児相談支援、 地域生活支援拠点等コーディネーター	相談支援の立場から地域の課題抽出を行ったり、適正な障害福祉サービス等の支援について検討を行う
きかく・けんしゅうグループ	毎月	障害福祉施設 基幹相談支援センター	共生のまち部会全体でのイベント等の企画及び研修内容等について検討を行う
課題に対応するプロジェクトチーム	随時	各課題の関係機関 共生のまち部会長・副会長 基幹相談支援センター、障害福祉課	短期間で課題解決すべき問題について、臨時でプロジェクトチームを作成し、課題について検討を行う
きよてんグループ	随時(年3回)	市内社会福祉法人、コーディネーター 短期入所又は共同生活援助を運営する法人 共生のまち部会長・副会長 基幹相談支援センター、障害福祉課	地域生活支援拠点等の運営について協議を行う
こころグループ	年4回	就労継続支援B型、地域活動支援センター 各病院PSW、衣浦東部保健所 指定特定相談支援 安城若者サポートステーション	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について検討する
医療的ケア児連携会議	年2回	共生のまち部会長・副会長 保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関 こどもグループリーダー・サブリーダー 医療的ケア児等コーディネーター 基幹相談支援センター 子ども発達支援課、障害福祉課	医療的ケア児の関連機関が相互に連携できる体制を強化し、情報共有や課題把握を行う
医療的ケア児者事業所会議	毎月	医療的ケア児等コーディネーター 障害児相談支援、基幹相談支援センター 医療機関ソーシャルワーカー 医療的ケア児・者を受入れている事業所 子ども発達支援課、障害福祉課	医療的ケア児・者の支援体制の課題について検討を行う

※ 各グループには、ふれあいサービスセンターと障害福祉課も出席する。

議題（１）共生のまち部会等の活動報告について

● 共生のまち部会

課題 1	共生のまち部会の体制変更
これまでの取組内容	令和 2 年度に大きな体制変更を行ったが、体制変更の総括を行い、より現状に適した体制に変更するため、市内全事業所に体制変更に関するアンケートを行った。
今後の取組方針	アンケート結果などを参考に体制の改善を図る。

課題 2	地域課題の集積、次年度課題作成のプロセス整理
これまでの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・とうじしゃグループに地域生活支援拠点等コーディネーターを加えて、当事者の声を中心とした地域課題の抽出ができるようにした。 ・各グループで事例検討を行うことを義務化し、個別課題から地域課題の抽出を検討できるようにした。
今後の取組方針	相談支援専門員は、当事者の支援のために当事者本人や家族、複数の障害福祉サービス事業所と協議をしている。市内すべての相談支援専門員が在籍するそうだんグループから、協議等で得た情報から地域課題を出してもらい、各グループ、プロジェクトチームで地域課題の解決にむけて検討できるようにする。

課題 3	安城市自立支援協議会との連携
これまでの取組内容	第 1 回安城市自立支援協議会で共生のまち部会の概略の説明を行った。
今後の取組方針	自立支援協議会議委員との連携ができるように、自立支援協議会議委員に共生のまち部会等へ参加してもらえらるような体制を整える。

● こどもグループ

課題1	グループワークを通じて事業所間の繋がりの強化
これまでの取組内容	グループワークにより少人数になる事で意見の言いやすい環境を作り事業所の会議への参加率の向上を図ってきた。
今後の取組方針	引き続きグループワークにより意見の言いやすい環境を作り、まだ参加できていない事業所にも声をかけていく。

課題2	支援者のスキルアップの為の研修会の実施
これまでの取組内容	虐待防止研修会をきかく・けんしゅうグループに企画し承認後、現在研修会当日の役割分担まで終了し依頼文やアンケートなど作成中。
今後の取組方針	今後も研修や勉強会が行えるよう参加事業所にアンケートを取って検討していく。

課題3	保護者同士の交流の為の意見交換会の実施
これまでの取組内容	子育てや障がいについて保護者が困ったときに、どこに相談をすれば良いのかが1枚でわかりやすく記載されているロードマップを作成する為、プロジェクトチームの設置を依頼し、承認後2回の会議が終了。 保護者同士の交流の為の意見交換会の提供は未実施。
今後の取組方針	保護者同士の交流の為の意見交換会の提供に関してはグループで話し合っって検討していく。ロードマップは引き続き保護者にとってより良いものになるように会議を重ねていく。

● 暮らしグループ

課題 1	パーソンセンタードシェアタイム（本人中心の支援）
これまでの取組内容	業務量が増える一方で人員不足に悩まされている居宅事業所が多く、担当者が会議に参加が困難な状況になっているため、十分な実施ができていない。 神奈川県立中井やまゆり園での多数の職員による虐待の報道を受け、安城市内の事業所の虐待防止委員会の設置状況等を確認することとした。
今後の取組方針	課題への取組みについては、10人程度の出席者がいないと検討が困難であるため、担当者の状況の把握、会議の方法や日程調整を行い、会議を開催する予定。

課題 2	施設入所者等の地域生活への移行
これまでの取組内容	業務量が増える一方で人員不足に悩まされている居宅事業所が多く、担当者が会議に参加が困難な状況になっているため、十分な実施ができていない。
今後の取組方針	課題への取組みについては、10人程度の出席者がいないと検討が困難であるため、担当者の状況の把握、会議の方法や日程調整を行い、会議を開催する予定。

課題 3	暮らしグループの会議の参加率
これまでの取組内容	年度当初に暮らしグループに所属する全事業所に出席を呼びかけた。 また、会議をオンラインと対面のどちらでも参加可能にし、会議に参加しやすい環境を作った。
今後の取組方針	大勢で課題や問題解決に取り組もうとしていたが、それではスピード感が出ないため、会議の方法を検討する。グループ内を細分化（課題班や問題解決班）し、取り組んでいくことを共生のまち部会に提出予定。

● はたらくグループ

課題1	在宅での生活以外での選択肢
これまでの取組内容	福祉事業所の存在を知らないために生活の選択肢として在宅を選ばざるをえない状態の人がいる。 そうした人たち及びその家族や関係者等を対象に、通所・就労系事業所を紹介する事業所紹介の会の開催に向けての協議を進めた。
今後の取組方針	11月16日に開催予定であるため、開催に向けての打ち合わせ等を行っていく。終了後に振り返りを実施。

課題2	障害者雇用の促進
これまでの取組内容	企業側への障害者雇用について制度、仕組み、現状の周知を行うことや就労支援のネットワーク強化を目指すため、市役所・商工会議所・ハローワーク等と協力して障害者雇用の促進につなげる為のセミナーの開催に向けての協議を進めた。
今後の取組方針	10月26日開催予定であり、開催に向けての最終的な打ち合わせを行っていく。終了後には振り返りを実施。 また、定例の会議で事例検討等を行う予定。

課題3	福祉業界で活躍してもらえる人材の確保
これまでの取組内容	きかく・けんしゅうグループが同様の課題で取り組みを行う予定である。内容的に重なることが多いため、きかく・けんしゅうグループと合同またはきかく・けんしゅうグループへの協力という方法で行う予定。きかく・けんしゅうグループが下半期で同課題を取り扱う予定のため、それに合わせて動いていく。
今後の取組方針	きかく・けんしゅうグループが取り組みを行う際に協力していく。

課題4	事業所の空き状況の共有
これまでの取組内容	4月に空き状況調査を実施し、相談グループに情報を渡す。
今後の取組方針	役員打ち合わせで、今年度もう一度行うか検討する。

● とうじしゃグループ

課題1	特性に合ったコミュニケーションの方法の検討
これまでの取組内容	新型コロナウイルス感染症の流行により、リモート会議が多く十分に取り組めなかった。リモート会議が増え、移動が困難な者にとって便利だが、話が一方通行になったり、聞き取りにくかったりなどで思う様に進行できなかった。
今後の取組方針	リモート会議をうまく利用する方法を含めて、あらゆる障害者が参加し、発言できて、意見が反映されたと感じられるようにしたい。

課題2	定期的な困りごとの発信
これまでの取組内容	日々困りごとをメモしておくようにし、10月、11月の会議で話し合う予定。
今後の取組方針	12月の共生のまち部会で報告し、今後は毎年度12月頃、共生のまち部会に報告するようにする。

課題3	障害者差別解消法に基づく啓発
これまでの取組内容	取り組めていない。
今後の取組方針	年明けからの会議で、啓発活動を交流会のテーマにしたかどうかということを含め、話し合う予定。

課題4	とうじしゃの交流会を開催
これまでの取組内容	8月にポッチャで交流会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の流行により開催できていない。
今後の取組方針	年明けから交流会をテーマに話し合い、年度末までにリモート形式になっても開催する予定。

● そうだんグループ

課題1	総合的、専門的な相談支援の実施
これまでの取組内容	<p>利用者の希望する生活を実現するため、様々な視点から見立てや手立てについて意見交換を行い例外支給の検討を行った。資源活用・調整の合意形成と併せて相談支援専門員の気づきにつながる機会をつくった。</p> <p>9月に「精神障害にも対応した面談技法」について研修会を行った。</p>
今後の取組方針	<p>地区社協、居宅介護（ケアマネ）との交流会を予定している。他機関との事例共有を通してお互いの理解を深め、具体的に連絡・連携を行いやすい関係構築に向けて活動していく予定。</p>

課題2	地域課題の分析
これまでの取組内容	<p>地域体制強化共同支援加算の事例を再アセスメントし個別課題の抽出から地域課題の整理を始めた。</p>
今後の取組方針	<p>共生のまちの各グループから上がった地域課題をそうだんグループ内で課題整理を行っていく予定。</p>

● きかく・けんしゅうグループ

課題1	企画・研修を行うまでのプロセス修正
これまでの取組内容	<p>地域課題を洗い出し、ルールや様式を見直すとともに、積極的な企画等の立案をしていただけるよう広報を行った。</p> <p>昨年度作成した企画等に関する書類（企画書・チラシ・講師依頼文等）の見直しを行い、さらに使いやすい書類に仕上げ、共生のまち部会等で周知を行った。</p>
今後の取組方針	<p>企画実行や終了後の経験値の蓄積の仕方について議論しているが、こちらについては、まだ継続中である。</p>

課題2	障害福祉の普及啓発
これまでの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会として情報発信が出来るよう、講演内容や講師について取りまとめを行った。 ・ 学校・町内会・その他機関に対し、自立支援協議会として障害福祉の情報を発信していくにはどのような体制が必要かを検討した。
今後の取組方針	<p>下半期も普及啓発に取り組む予定。</p>

● きよてんグループ

課題1	地域生活支援拠点等の評価
これまでの取組内容	厚生労働省作成の「地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標」をもとに安城市の地域生活支援拠点等の評価を行った。
今後の取組方針	今回の評価において「×」がついている項目について、グループに所属している関係事業所と関係をより強化し、今年度以降改善に努める。

課題2	緊急時対応シートの改善
これまでの取組内容	緊急時に受け入れを行っている短期入所に、現在運用している緊急時対応シートの問題点等を確認し、様式の改善を行う。
今後の取組方針	様々なケースがあり、必要な情報をよりの確に短期入所側に伝えられるように逐次様式の見直しを行う。

● こころグループ

課題1	地域移行・地域定着支援の進捗状況の確認
これまでの取組内容	会議の度に現在の地域移行、地域定着支援の利用状況について参加者で確認、共有をしている。
今後の取組方針	今後も継続して実施していく

課題2	ピアサポーターの活躍の場の検討
これまでの取組内容	具体的にどういった活動を目指したらよいかわからない状況であることを確認した。そこで一度先進的な活動をしている団体の視察を行い今後の検討の参考にしていくこととなった。
今後の取組方針	日進市の社会福祉法人あじさいの会及び名古屋市西区の一般社団法人しんの活動を視察する。

課題3	当事者や介護関係者の会議参加に向けての協議
これまでの取組内容	グループの中で介護関係者と福祉関係者の住み分けを行った。
今後の取組方針	今後、介護関係者として地域包括支援センターの方に参加してもらえるように働きかけを行っていく。

● 医療的ケア児者事業所会議

プロジェクトチームの目的、目標とするゴール	市内医療的ケア児・者実人数調査の実施計画相談と分析
これまでの取組内容	障害福祉課が実人数調査を行った。来年度は地域の小学校へ入学予定者が2名、特別支援学校へ3名。分析した結果等で連絡会での課題の提示等に活用している。

プロジェクトチームの目的、目標とするゴール	医療的ケア児・者のためのロードマップ（相談先紹介版）作製と啓発
これまでの取組内容	医療的ケア児・者のためのロードマップの概要版が完成し共生のまちから承認され自立支援協議会の了承を得た上で今年度中に出すことを目標としている。また、年齢期に合わせた詳細版に取り組んでいる。

プロジェクトチームの目的、目標とするゴール	防災アンケートを基にした関係部署との連携や当事者への啓発活動
これまでの取組内容	防災アンケートを実施した。避難所先を病院と記載されている方が多数となった。避難行動要支援者名簿、特定避難所に移送する方法、災害時の電源確保、個別避難計画が立案等話題に上がり継続的に話し合っている。

<p>プロジェクトチームの目的、目標とするゴール</p>	<p>医療的ケア児・者の家族交流会の計画と実施</p>
<p>これまでの取組内容</p>	<p>ニーズの把握のため、アンケート調査を検討していくか。講義形式？SNSで繋がっている中で集まりたいと思っている人がどの程度いるのか。困りごとが話せる機会になるといいが。どんな内容なら参加したいと思えるか、当事者に寄り添ったカタチで実施していけたらよいか話し合っているがコロナ渦もあり実現できていない。</p>

● 入浴支援プロジェクトチーム

<p>プロジェクトチームの目的、目標とするゴール</p>	<p>身体障害、特に重症心身障害児者の方が入浴するためには支援が必要となります。福祉サービスの利用が限られている現状がある中で、平成30年度のそだんグループの調査結果では家族の支援力が低下すると入浴の回数が低下するという結果が出ました。身体障害、重症心身障害児者の方が入浴をする機会や選択肢を増やしていきたい。そのために現状の課題の分析と実現可能な対策を提案していく。</p> <p>課題の分析と実現可能な対策の提案を共生のまち部会に報告をする。</p>
<p>これまでの取組内容</p>	<p>なぜ希望通りの入浴回数が叶わないのかというテーマで、「利用者」「家族」「福祉サービス」「住環境」の側面から要因を分析し、重要要因を洗い出した。その要因についての対策のアイデアを現実可能かどうかを考慮せずに自由な発想でアイデア出しを行った。</p>

● 人材育成体制プロジェクトチーム

<p>プロジェクトチームの目的、目標とするゴール</p>	<p>愛知県障害福祉従事者人材育成ビジョンにて提示されている市町村の役割「基礎的な研修、事例検討会、地域の支援者のニーズに合わせた研修等」を見越した枠組み作りを行うことで、安城市の障害福祉従事者の育成をはかることを目的とする。</p>
<p>これまでの取組内容</p>	<p>プロジェクトチーム内において「どういった人材を育成するのか」のビジョン作成のための協議を、安城市版の人材育成ビジョンを作成している。</p>

● こども相談先ロードマップ（準備室）作成プロジェクトチーム

<p>プロジェクトチームの目的、目標とするゴール</p>	<p>安城市が編集した保護者向けの冊子と関連づけつつ、子育てや障がいについて保護者が困ったときに、どこに相談をすれば良いのかが1枚でわかりやすく記載されているロードマップを作成することで、悩みを抱え込んでしまう保護者の減少を目指すとともに、児本人への早期アプローチが可能となることを期待する。</p> <p>対象は0～18歳とする。</p>
<p>これまでの取組内容</p>	<p>第1回会議で目標の共有し、第2回会議でロードマップという形にこだわらずに、保護者が困った時に相談先がわかりやすいものを作っていくことを決定した。</p> <p>何に困っていたのかを保護者に確認して作るため、アンケートを作成してニーズを把握する。</p> <p>現在アンケート調査票を作成している。</p>